



NEWS
古文書の原作「諸控帳(川古庄屋日記)」を寄贈いただきました

4月20日、東京都在住で江戸時代の川古村で総代的な役割を勤めていた満武家の末裔である満武直人さんが市役所を訪問され、諸控帳(二名「川古庄屋日記」)の資料を寄贈いただきました。

今回の寄贈は、この古文書類を読み解いた「川古庄屋日記・諸控帳を読む」(松尾政信さん著)が刊行されたのがきっかけ。

満武さんは、「資料を見つけた時、松尾さんが刊行された時などタイミングが重なりました。寄贈することで記録を残した父も先祖も喜んでくれると思います。市民が残した記録は面白さがありますので、ぜひ役立ててください。」と語られました。

NEWS
武雄市保管の古絵図「唐津之図」
幻の唐津・岸岳城跡の姿に迫る

今回、佐賀大学全学教育機構の宮武正登教授の調査によって、武雄市図書館・歴史資料館が保管する「武雄鍋島家資料」の中の「唐津之図」という古絵図が、唐津市にある県指定史跡「岸岳城跡」と『獅子城跡』の様子を描いた唯一の絵画史料として新たに発見されました。

特に岸岳城跡は西九州最大級の山城跡として著名で、江戸期の様子を描いた絵図はこれまで1点も発見されておらず、このような新たな絵図史料が発見される例は城郭研究の世界でも極めて稀であるとのこと。

武雄市歴史資料館ホームページ内、「武雄鍋島家資料(絵図)閲覧システム」の「絵図二覧」にて画像を公開しております。



NEWS
楼門朝市10周年に
ふさわしい大盛況!

4月30日、「楼門朝市10周年大感謝祭」が開催されました。

会場となった温泉通りには過去最高の2800人が訪れ、この日限りのイベントを楽しんだり、物産品を購入したりと大賑わいとなりました。

特別企画の「マグロの解体ショー」は、その迫力に歓声があがり、解体したマグロは来場者へふるまわれました。

じゃんけん大会や卓球など子ども向けのイベントも大好評で、ゴールデンウィークの思い出作りになったのではないのでしょうか。

ご来場いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

NEWS
教育委員会委員の紹介

武雄市議会3月定例会で、教育委員会委員に新しく一ノ瀬憲昭(いちのせのりあき)氏を任命する議案が同意され、4月29日から教育委員に任命されました。

一ノ瀬委員は、東川登町にお住まいで、社会教育指導員を4年間(平成23年〜平成26年)勤められています。今後の教育行政にご尽力いただきます。

◇委員任期 平成29年4月29日
平成33年4月28日◇